



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 チムニー株式会社 上場取引所 東
コード番号 3178 URL <https://www.chimney.co.jp/>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名） 茨田 篤司
問合せ先責任者（役職名）取締役常務執行役員経財担当（氏名） 阿部 真琴 (TEL) 03(5839)2600
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月11日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	12,763	0.0	55	△82.5	87	△75.8	101	△42.5
2025年3月期中間期	12,759	3.3	316	△24.4	360	△27.0	176	△14.7

（注）包括利益 2026年3月期中間期 144百万円（△54.9%） 2025年3月期中間期 320百万円（226.1%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	5.27	—
2025年3月期中間期	9.17	—

（参考）EBITDA 2026年3月期中間期 510百万円（△34.1%） 2025年3月期中間期 774百万円（△16.7%）

*EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費+のれん償却額

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	16,069	6,118	38.1
2025年3月期	16,726	6,069	36.3

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 6,118百万円 2025年3月期 6,069百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2026年3月期	—	5.00			
2026年3月期（予想）			—	5.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	△0.8	600	△35.0	650	△38.5	750	△30.3	38.87

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) - 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年3月期中間期	19,340,800株	2025年3月期	19,340,800株
2026年3月期中間期	47,895株	2025年3月期	47,895株
2026年3月期中間期	19,292,905株	2025年3月期中間期	19,292,905株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P3「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復傾向にある一方、継続的な物価上昇や地政学的リスクの高まり、米国の通商政策の動向などにより、先行きへの不透明感が続きました。

外食業界におきましては、外食需要は回復基調が続いていますが、継続的な物価上昇による消費者の節約志向・選別志向は根強く、原材料費、光熱費、人件費、建築費の上昇により、事業を取り巻く環境は厳しい状況が続いており、とりわけ当社グループが主として展開する居酒屋業態は、大きな影響を受けております。

このような状況のなか、当社グループは「お客様からありがとうと言われる企業になろう」という企業理念のもと、当社グループの店舗がお客様から選ばれる店舗となり、安全・安心と楽しさを提供することによってお客様に元氣になっていただけるよう取り組んでまいりました。そのために、従業員エンゲージメントの向上に努めるとともに、多様な人財(*1)の確保のため、外国人の採用と教育訓練にも注力してまいりました。

飲食事業では、お客様に季節を体感していただくため、「春の鰹まつり」、「夏の元氣祭りフェア」の開催や、秋の味覚を堪能できる「秋のプレミアムコース」をご用意いたしました。また、昨年ご好評いただきました「鹿児島焼酎ハイボールフェア」や料理家栗原心平氏とのスペシャルコラボメニューをご用意し、心と食と飲を通じて、ご来店いただいたお客様に楽しい時間と空間をご提供することに努めてまいりました。集客につきましては、旅行団体やご宴会予約は順調に推移しましたが、消費者の節約志向・選別志向の高まりの影響などを受け、フリーのお客様の集客は厳しい状況が続きました。

店舗開発としましては、建設コスト上昇などを踏まえ新規出店を慎重に検討した結果、当初計画を下回り、飲食事業で直営店4店舗、子会社1店舗を出店いたしました。また、お客様に居心地の良い空間を提供するため、店舗のブラッシュアップ（改装、業態転換、修繕等）をすすめてまいりました。

コントラクト事業(*2)におきましては、引き続き、店舗数の拡大に努め、直営店1店舗を出店いたしました。

これらにより、当社の直営店既存店売上高は前年同期比0.2%減となり、当社グループの当中間連結会計期間の売上高は12,763百万円（前年同期比0.03%増）となりました。

利益面につきましては、原材料価格の上昇に対して、メニュー粗利ミックス、食材アイテム数の集約、新規の産地開拓により、原価の上昇を最小限に抑制するよう努めましたが、出店・改装関連費用、人件費や各種経費の上昇により、営業利益は55百万円（前年同期比82.5%減）、経常利益は87百万円（前年同期比75.8%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は101百万円（前年同期比42.5%減）となりました。

*1 当社グループでは、「人材」ではなく、「人財」と表記しております

*2 防衛省、法務省所管の厚生施設内における飲食店の運営等

当中間連結会計期間の店舗数につきましては、以下のとおりであります。

	前期末	新規出店	閉店	F C 転換数	直営 転換数	中間期末
直営店	209	4	△15	△1	2	199
コントラクト店	95	1	△4	—	—	92
全直営店計	304	5	△19	△1	2	291
F C店	144	—	△1	1	△2	142
当社合計	448	5	△20	—	—	433

(連結子会社)

(株)紅フーズ コーポレーション	19	1	—	—	—	20
めっちゃ魚が 好き(株)	8	—	—	—	—	8
当社グループ合計	475	6	△20	—	—	461

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べて656百万円減少し、16,069百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が335百万円増加した一方で、現金及び預金が635百万円、売掛金が119百万円、のれんが231百万円減少したこと等によります。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて704百万円減少し、9,951百万円となりました。この主な要因は、前受収益が169百万円増加した一方で、買掛金が192百万円、未払金が82百万円、有利子負債が556百万円減少したこと等によります。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べて48百万円増加し、6,118百万円となりました。この主な要因は、配当金の支払いが96百万円あった一方で、その他有価証券評価差額金が42百万円増加し、当中間連結会計期間の業績により親会社株主に帰属する中間純利益を101百万円計上したこと等によります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、営業活動により674百万円増加、投資活動により657百万円減少、財務活動により652百万円減少した結果、前連結会計年度末より635百万円減少し5,992百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の営業活動の結果増加した資金は、674百万円（前年同期は11百万円の減少）となりました。主な内訳は、税金等調整前中間純利益100百万円、減価償却費155百万円、のれん償却額231百万円、売上債権の減少119百万円があった一方で、仕入債務の減少192百万円、未払金の減少47百万円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の投資活動の結果減少した資金は、657百万円（前年同期は290百万円の減少）となりました。主な内訳は、差入保証金の回収による収入が33百万円あった一方で、固定資産の取得による支出が588百万円、差入保証金の差入による支出が57百万円あったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の財務活動の結果減少した資金は、652百万円（前年同期は507百万円の減少）となりました。主な内訳は、短期借入金の減少が400百万円、長期借入金の返済が155百万円、配当金の支払額が96百万円あったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年10月14日に公表いたしました予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,628,234	5,992,422
売掛金	596,412	477,411
F C 債権	214,538	188,436
商品	312,433	295,289
貯蔵品	8,485	7,831
その他	665,122	573,167
貸倒引当金	△197,164	△151,514
流動資産合計	8,228,063	7,383,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,258,373	1,472,434
その他（純額）	257,122	378,545
有形固定資産合計	1,515,495	1,850,979
無形固定資産		
のれん	2,229,495	1,997,620
その他	29,829	43,338
無形固定資産合計	2,259,325	2,040,958
投資その他の資産		
差入保証金	3,205,731	3,186,827
その他	1,566,758	1,656,697
貸倒引当金	△49,257	△48,763
投資その他の資産合計	4,723,231	4,794,761
固定資産合計	8,498,053	8,686,699
資産合計	16,726,116	16,069,743

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	998,984	806,182
F C 債務	232,996	200,715
短期借入金	3,100,000	2,700,000
1年内返済予定の長期借入金	310,268	1,310,268
未払法人税等	45,329	23,689
賞与引当金	157,589	159,066
店舗閉鎖損失引当金	22,782	20,596
資産除去債務	23,598	21,224
その他	1,340,944	1,450,602
流動負債合計	6,232,495	6,692,345
固定負債		
長期借入金	2,599,708	1,444,574
退職給付に係る負債	237,249	242,139
資産除去債務	752,939	743,072
その他	833,728	829,517
固定負債合計	4,423,624	3,259,304
負債合計	10,656,119	9,951,649
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	4,197,792	4,197,792
利益剰余金	1,820,383	1,825,604
自己株式	△101,152	△101,152
株主資本合計	6,017,023	6,022,244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,605	96,165
退職給付に係る調整累計額	△632	△316
その他の包括利益累計額合計	52,973	95,849
純資産合計	6,069,996	6,118,093
負債純資産合計	16,726,116	16,069,743

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	12,759,242	12,763,112
売上原価	3,994,660	4,003,921
売上総利益	8,764,581	8,759,191
販売費及び一般管理費	8,448,405	8,703,867
営業利益	316,175	55,324
営業外収益		
受取利息	646	5,638
受取配当金	2,620	3,130
持分法による投資利益	36,227	13,580
受取手数料	32,883	33,752
その他	12,453	12,433
営業外収益合計	84,830	68,535
営業外費用		
支払利息	32,013	35,670
その他	8,409	895
営業外費用合計	40,423	36,565
経常利益	360,582	87,293
特別利益		
受取保険金	—	56,550
受取補償金	68,000	71,706
特別利益合計	68,000	128,257
特別損失		
固定資産売却損	100	—
固定資産除却損	—	5,630
減損損失	32,014	79,658
投資有価証券評価損	192,809	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	7,306	12,905
その他	15,000	16,618
特別損失合計	247,230	114,813
税金等調整前中間純利益	181,351	100,737
法人税、住民税及び事業税	21,945	22,669
法人税等調整額	△17,452	△23,617
法人税等合計	4,492	△948
中間純利益	176,859	101,685
非支配株主に帰属する中間純損失 (△)	△135	—
親会社株主に帰属する中間純利益	176,994	101,685

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	176,859	101,685
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	142,953	42,560
退職給付に係る調整額	973	316
その他の包括利益合計	143,926	42,876
中間包括利益	320,786	144,562
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	320,921	144,562
非支配株主に係る中間包括利益	△135	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	181,351	100,737
減価償却費	150,394	155,973
減損損失	32,014	79,658
のれん償却額	231,875	231,875
長期前払費用償却額	4,582	8,079
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△14,647	△46,144
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,292	1,476
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△5,725	△2,186
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,299	5,206
受取利息及び受取配当金	△3,266	△8,768
支払利息	32,013	35,670
持分法による投資損益 (△は益)	△36,227	△13,580
投資有価証券評価損益 (△は益)	192,809	—
固定資産売却損益 (△は益)	100	—
固定資産除却損	—	5,630
受取保険金	—	△56,550
受取補償金	△68,000	△71,706
売上債権の増減額 (△は増加)	340,812	119,000
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,643	17,798
F C 債権の増減額 (△は増加)	45,266	26,102
仕入債務の増減額 (△は減少)	△940,494	△192,802
F C 債務の増減額 (△は減少)	△50,770	△32,281
未払金の増減額 (△は減少)	△361,113	△47,666
その他	266,031	321,451
小計	7,955	636,973
利息及び配当金の受取額	3,266	8,768
保険金の受取額	—	51,203
補償金の受取額	68,000	71,706
利息の支払額	△29,791	△36,922
法人税等の支払額	△45,946	△44,308
その他	△15,000	△13,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	△11,516	674,420
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△323,587	△588,602
固定資産の売却による収入	124	—
固定資産の除却による支出	△56,648	△45,439
差入保証金の差入による支出	△50,498	△57,448
差入保証金の回収による収入	96,439	33,263
預り保証金の返還による支出	△325	△200
預り保証金の受入による収入	55,199	19,859
その他	△11,167	△18,669
投資活動によるキャッシュ・フロー	△290,465	△657,236

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,360,000	△400,000
長期借入れによる収入	1,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△46,250	△155,134
配当金の支払額	△96,352	△96,512
リース債務の返済による支出	△5,346	△1,350
財務活動によるキャッシュ・フロー	△507,949	△652,996
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△809,931	△635,812
現金及び現金同等物の期首残高	7,852,493	6,628,234
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,042,562	5,992,422

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、居酒屋を中心とした飲食事業の他にセグメントとして、コントラクト事業がありますが、飲食事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。